

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		ブックスタート事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名 西川 正則
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	生涯学習課	担当者名 森田 由貴恵
	基本事業	60	相談支援体制の充実			所属班	図書館班	(内線) 2512
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果 : 8 コスト削減優先度評価結果 : 6
		1	10	5	8	10610		
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H14 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ブックスタートとは、0歳児の赤ちゃんとその保護者が絵本を使って対話し、親密で温かなふれあいの時間を持ってもらうことを目的とし、またその後の子育てにおいて、絵本を通じて子どもの創造性やこころの成長を育てていくことを促進する事業です。 旧西合志町では平成13年度、議員の一般質問をきっかけに平成14年度より開始 旧合志町では、平成13年度に絵本を配布するのではなく、保護者に絵本の紹介から開始。平成14年度より予算がつき進呈を開始。 最近、家庭内での虐待、核家族化の進行などで子育ての悩みなど保護者と子どもとの対話、子育てそのものができていない
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回の乳児健診(7ヶ月児)時に、図書館の職員が子どもの心を育む本との関わりを説明し、2冊の絵本が入ったブックスタートパックを手渡している。 年間分の絵本パックの購入、人数を把握して配布の準備、市内2ヶ所の健診場所で配布の準備、配布
【主な予算費目】	報酬(非常勤職員の手当)、需用費(消耗品費・絵本の購入費)、パンフレット用紙代、燃料費等
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	配布時に、保護者からは喜んでいただいている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
7ヶ月健診時に絵本の配布と読み聞かせの指導を行った。ブックスタートに使用する絵本の統一を図った。	21年度同様7ヶ月健診時に実施する。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⇒ ア ブックスタートパック配布数 件 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
0歳児とその保護者	⇒ ア 出生者数 人 ⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
絵本を通じて保護者と赤ちゃんの対話のきっかけとしてもらう	⇒ ア 図書館での絵本の貸出冊数 冊 ⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
<ul style="list-style-type: none"> 図書館での絵本の貸し出し冊数より、ブックスタートの効果が把握できる。 ブックスタートの啓発事業により、図書館での絵本の貸出増が見込まれる為 	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア	件	587	588	630	622	640	650	
	イ								
⑤ 対象指標	ア	人	587	588	630	622	640	650	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	冊	90319	100771	94000	100680	101000	101000	
	イ								
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	972	924	1,071	1,071	1,037	1,105
	(A) 事業費計	千円	972	924	1,071	1,071	1,037	1,105	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	5	3	3	
	延べ業務時間	時間	180	180	180	83	180	180	
	(B)人件費計	千円	715	720	716	330	716	716	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,687	1,644	1,787	1,401	1,753	1,821	0

総トータルコスト
全体計画
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)
0
0

事務事業名	ブックスタート事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷	出生数は、当初見込み数より減であったが、ブックスタートの効果により図書館における絵本の貸出冊数は増加している。
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷	新興住宅地の増加に伴い、出生数も増えているため。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を通じた親子間の対話をさらに進めしめよう余地がある。 ・おはなし会の時などに、同年代の子どもを持つ親同士の語らいの場を設ける等子育ての悩みの解消を図る。 ・2～3歳児への事業を行うことにより、再なる浸透と親のためのサポートを行う
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業)	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷	<ul style="list-style-type: none"> □ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ □ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ <p>・対象者のすべてに絵本を配布し、その効能・意義を伝えることのできる事業は他にない。</p>
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷	<ul style="list-style-type: none"> ・需用費(消耗品費:絵本の購入費)については、現在は特定非営利活動法人(NPO)により正価の半分程度の価格で絵本を購入しており、寄付等が行われないうり削減の余地はない。 ・報酬(非常勤職員の手当て)については、完全にカットできるわけではないが、ボランティアなどできるだけ市民の協力が得られれば多少の削減余地はある
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷	<ul style="list-style-type: none"> ・健診の際、次の検査の待ち時間などを利用して効率よく絵本を配布すれば、多少の時間短縮の余地はある。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者は0歳児と保護者に限られるが、子育て支援の重要な施策であり、事業費についても必要最低限で行っている。。また、受益者負担で行う性格の事業ではない。
	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷	地域のボランティアの方にも、ブックスタート配布時の説明等の協力をしていただいております、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

事業自体は浸透しつつある。親子のスキンシップと絆を深めるために実施している事業ではあるが、同時に図書館の周知にもかなりの役割を担っていると言える。転入者も多く、子育てのバックアップとともに、図書館の活性化にも成果があると思う。今後とも、指導の質を上げ、実施を続けていければと思う。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																							
高い評価のある事業であり、今後も継続していく。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
<ul style="list-style-type: none"> ・健診時の調整や、子育てに関する事業の調整などで、健康づくり推進課、子育て支援課との連携を行う必要がある。 ・7ヶ月検診未受診の乳児に対しては、健康づくり推進課、子育て支援課と協力し配付100パーセントをめざす。 																							